

平成26年度宮城県放課後子ども教室指導者等研修会

開催日：平成26年11月13日（木）
会場：ひとめぼれスタジアム宮城
《インタビュールーム》

1 研修会の目的

宮城県放課後子ども教室に対する理解と放課後子ども教室に関わる指導者の資質向上を図るとともに、放課後子ども教室に関わる関係者の情報交換・情報共有を図ることで、放課後における児童の健全育成を推進することを目的とする。

2 参加者

役職名	参加人数
コーディネーター	25人
教育活動推進員（学習アドバイザー）	11人
教育活動サポーター（安全管理員）	29人
教室運営スタッフ（ボランティアスタッフ等）	12人
行政職員	15人
計	92人



3 内容

【講演】演題：◇子どもを育む「えんむすびと縁結人」になろう◇「地域で創る魅力ある放課後子ども教室」
講師：昭和女子大学グローバルビジネス学部 特任教授 興 梶 寛 氏

日本ボランティア界のパイオニアである興梶先生をお招きして講演会を行いました。熊本県八代市の環境ボランティアグループ「次世代のためがんばる会 (<http://www.ganbarokai.com>)」による『カキ殻を使った河川の浄化活動』の事例をはじめ、イギリスやアメリカなどの事例が先生の優しい語り口で感動的に紹介されました。ボランティアの無限の可能性を実感させられる内容でした。

日頃、ボランティアとして放課後子ども教室の活動を支えている参加者にとって、興梶先生の一言一言が心に浸みたようでした。講演の中にちりばめられていた印象に残ったフレーズをいくつか紹介します。

- ☆「意味ある他者への出会い必要とされる自分を発見できる」☆
- ☆「みんな本当はボランティアされたいんじゃなくボランティアしたいんだ」☆
- ☆「必要とされることで生きていく意味を知ることができる」☆
- ☆「少年は必要とされてはじめて大人になる」☆
- ☆「自分にできることが全ての人にある（赤ちゃんでもボランティアはできる）」☆

「えんむすびと縁結人」とは、興梶先生が考えた言葉だそうです。英訳すれば「コーディネーター」になります。放課後子ども教室を支えるスタッフの皆さんが、人と人の“縁”を結ぶ縁結びの神様になり、また、地域と子どもの“縁”を結ぶ縁結びの神様となり、「自分もhappy！ 相手もhappy！」になれるボランティアで、「地域で創る魅力ある放課後子ども教室」の活動を創り上げていく力をいただいた講演会になりました。



情報交換会

講演会の後、12グループに分かれて情報交換会を行いました。地域によって子ども教室の運営に特徴があり、「活動内容など参考になる事が多かった」「日頃胸につかえていたことが話せてスッキリした」など、予定時間を超過して熱心に話し込んでいました。



～研修会の感想(受講者アンケートより抜粋)～

- ボランティアの基本的な内容を楽しく聞かせていただきました。ボランティアというと、あれもこれもしなければという重荷になることがしばしばでした。家庭的にも、介護・孫育てと時間に限りがあります。先生の「縁結人」のお話に感動。もう少し子どもたちと関わっていきたくと思いました。
- とても良かったです。もっと多くの人に聞かせたいです。“ボランティアって誰でも簡単にできる。相手も自分も幸せになれる！” なんだか肩の力が抜けました。この話を周りの人に伝えたいです。自分の夫も含めて。
- すばらしいお話の数々、キラキラ受け止めました。いつまでも聞いていたかったです。
- 子どもが可愛いということだけで放課後子ども教室に参加させていただきましたが、私自身子どもと触れ合うことでボランティアをしているのではなく、子どもたちにボランティアされているのかなと感じました。年齢を超えた触れ合いがとても大切だと思います。
- 楽しかったです。あっという間の90分。もっと聞きたいというところでした。日本の中でも色々な地域のことを知るのはとても幸せなことです。「少年は必要とされて大人になる」という言葉が身にしみて心に残りました。私も必要とされる人になりたい。そして、必要とされるチャンスのきっかけになるコーディネーターでありたいと感じました。
- 「みんな本当はボランティアされたいんじゃなくボランティアしたいんだ！」という先生のお言葉を聞いて驚きと感動を覚えました。確かにそうだと自分の中で納得がありました。ボランティアと一言にいても、様々な活動があるのだと感じました。この度この研修にて学んだことを今後の活動に役立てていきたいと思っています。